

令和元年度

委員会だより

NO. 2

組織・連携委員会編

北海道PTA連合会

令和元年10月30日（水）発行

◇札幌大会開催要項の中に、下記の通り、委員会（組織・連携委員会）の活動報告を掲載しましたので、お知らせします。

組織の在り方、他団体や地域との連携、研修活動等に関することについて年3回の会議を持って調査研究活動を進めています。

今年度は、研究テーマを「コミュニティー・スクールにおけるPTA活動・組織の在り方」とし、平成29年度に実施した「コミュニティー・スクールに関するアンケート調査」の結果や平成30年度の研究を踏まえながら、札幌大会の第1分科会において、寿都町立寿都中学校PTA、登別市立幌別西小学校PTAが分科会提言発表を行います。

今後も委員会の研究活動報告のひとつとして、より多くの皆様に知っていただく場としてこの研究大会を活用していきたいと思っています。

◇10月19日（土）に第2回委員会（第2回組織・連携委員会）が行われ、下記の通り、話し合いが行われましたので、その一部ではありますが、お伝えします。

尚、今回の話し合いに向けて事前に各理事の皆様へ令和2年度の組織・連携委員会に向けて下記の通り、キーワードをお渡しし、検討していただくようお願いしておりました。

■キーワード①『人員』～役員や各活動の参加者の確保

■キーワード②『意識』～役員と一般会員との意識のずれ（意欲・負担感等）

■キーワード③『矛盾』～「役員もまた家族の一員（個人）なり」

※PTA活動への参加奨励と、役員自身の家族との（プライベートな）余暇の時間確保・充実の兼ね合いは？（意欲・負担感等）

■キーワード④『時間』～活動や会議等の日時確保（設定）

■キーワード⑤『お金』～（会員減等に伴う）活動予算の確保・運用

■キーワード⑥『改善』～工夫した（特色ある）取組例

※小中連携体制の構築等

1. 札幌大会の振り返り

組織・連携委員会では、2年間にわたり、委員（理事）の皆様と札幌大会「第1分科会」に関わるテーマの設定及び提言推薦地区・推薦校について、話し合いを行ってきました。

その結果、『PTAとコミュニティー・スクール』というテーマで、後志地区（寿都町P連・寿都中学校PTA）様と胆振西部地区（登別市幌別西小学校PTA）様に提言をい

ただきました。参加者からは、「コミュニティー・スクール（CS）の進捗には様々な事情から、地域差があると思った。」という感想もあり、今回の提言がCSについて考える一つの大きなきっかけになったのではないかと思います。

素晴らしい提言に感謝申し上げます。

その他の分科会、全体会についても参加された理事の方々から感想をいただきました。

2. P T Aの組織体制・活動についての交流（キーワード■をもとに）

■キーワード①『人員』

○会長職や役員の選出、各活動の参加者確保

- ・副会長からあげる。
- ・会長から日常的に声かけしていく。
- ・女性も登用する。
- ・役員と会員との日常的なコミュニケーションが必要。
- ・OBにも参加を継続してもらい、会員への啓発に努める。
- ・役員だからこその特権を持たせて活用することも有効。 他



■キーワード②『意識』

○意識について

- ・小のゴール、中のゴール～卒業を意識させ、意欲を持たせる。
- ・研究会、分科会の素晴らしさを広く発信し伝えていく。

■キーワード⑤『お金』

- ・会費を値上げする際は、活動の状況、子どもの数の推移を長期的に見通し考えていく。
- ・資源回収の収益金を資金として繰り入れる。
- ・役員になったことにより必要な出費（会議への参加費・交通費等）は、配慮が必要。こうしたことを踏まえ、長期の展望を持ちながら、会費の額を設定していく必要がある。

■キーワード⑥『改善』

- ・役員をやっていることによるよいことを周知し、役員のなり手を見つける。

☆次回の委員会は、12月7日（土）、13：00～です。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3番地22 時計台通ビル6階
TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929
Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp